

第1463回（5月22日）

第1464回（5月29日）

### 中国中山間地域の農業振興と農地問題

田畑 保，合田素行，友國宏一，  
宇野忠義，香月敏孝，村松功巳，  
両角和夫，千葉 修，島本富夫

近年中山間地域の問題がクローズアップされてきている。農産物市場開放・輸入の拡大，農産物価格の引き下げ等の今日のわが国農業をめぐる環境の悪化が，農業展開の条件の不利な中山間地域に対してより深刻な打撃をもたらし，これらの地域では高齢化や農業の担い手の弱体化・空洞化ともあいまって地域農業の存立が危ぶまれるようなところさえ生じており，これら地域に対する対策がとくに重要な課題になってきているからである。

こうした中山間地域の問題が最も鋭く，集中的に現れているのが中国中山間地域である。日本農業における今後の農地政策のあり方，方向を考える上でもこうした地域が当面している土地問題や農業振興の問題の検討はさけて通れない課題となる。

本報告は，かかる問題意識のもとに当研究所が実施している「農地政策」特別研究の一環として広島県豊平町で行なった実態調査の結果の要点を報告したものである。

中国中山間地域の特徴及び現在当面している問題としておよそ次のような点が指摘される。

まず第1は，地形的・自然的立地条件の面での特徴で，傾斜地が多く，まとまった耕地が少ない，したがってまた基盤整備も立ち遅れており，農業生産基盤の面で多くの不利な条件を抱えているという点である。

中国中山間地域のもう一つの特徴は，近年高齢者，高齢農家の割合が際だって高くなっていること，そしてそれが農家及びその所有する農地の維持・継承に対して重大な影響を及ぼすようになっていることである。

第3は，兼業深化・高齢化のもとで農業の担い手が弱体化していること，従来から経営規模が零細なことともあいまって生産力が低位で，コストが高いこと等の農業構造面での問題である。そしてさらにそのことが耕地利用率の低下，荒廃農地の多発といった農地の維持・管理，流動化問題とも重なり，農地の利用・管理の体制のあり方が問われる状況となっていることである。

我々の調査地である豊平町の場合にも以上のような中国中山間地域の特徴，問題が強く現れているが，こうした地域が現在直面している農業振興・農地問題をめぐる課題と論点はおおよそ次のようなことである。

第1は，高齢化の著しい進行，高齢農家の増大のもとで，特にこうした高齢農家に最も鋭く現れるところの農地の維持・管理をめぐる問題である。高齢化と後継者の転出による高齢農家の増大は，家族の再生産の問題だけでなく，家産であり，生産手段である農地の継承の問題を大きくクローズアップさせた。それは，個々の高齢農家にとっての問題であるだけでなく，集落・地域にとっても大きな問題となってきたからである。それ故にこの問題は，のちにふれる基盤整備や地域農業の組織化の問題とも密接に関連している。

第2は，傾斜地が支配的で，山間棚田が多いこの地域に特有な土地条件のもとでの土地利用と基盤整備のあり方をめぐる問題である。中山間地域では基盤整備が遅れているが，基盤整備されないところでは荒廃地化する動きも生じており，それだけに中山間地域では基盤整備が農地の作り手・引受け手を確保するためにも重要な意味を持つようになってきている（農地の維持・保全のための基盤整備）。中山間地域の基盤整備をめぐる問題としては，高齢化，農業の担い手の弱体化，空洞化のもとでの基盤整備の推進主体のあり方，傾斜地・棚田というこの地域の条件に即した基盤整備のあり方，高齢化，工事費増大のもとで

の費用の負担のあり方、整備後の利用の仕組みの問題等が指摘されている。農地の管理・流動化の問題との関連でも、こうした土地利用と基盤整備の問題が重要となっている。

第3は、兼業化、高齢化の中で、この地域の農業の担い手の問題をどの様に考えていくか、という点である。いわゆる農業の担い手と目される存在はこの地域ではきわめて限定的で、花き、野菜、果樹、畜産等でごく少数点に在しているに過ぎない。そうした存在を地域の農業振興の中に適切に位置づけるとともに、集落の農業、農地を維持していくためには集落の農業の組織化が避けて通れない問題となっている。役場、農協等でも既に営農組合、生産組織の組織化等の取り組みがなされているが、兼業化、高齢化のもとで、その担い手を如何に確保するかがきわめて重要で、かつまた容易でない課題となっている。

第4は、かかる状況のもとで、この地域での農地管理のあり方、方向をどう考えていくかという問題である。地域農業の担い手、農地の引受け手が弱体化、空洞化しているところでは農地の引受け手を育成・確保することなくしては農地流動化も進まないし、農地の荒廃防止、農地の維持・保全も図れない。この地域では規模拡大のためというより、農地の維持・保全のために農地流動化が課題となっているのであり、それはまた地域農業維持の問題とも重なっている。農地流動化の制度的枠組みの検討もまた、そのような課題と関連させて解明することが求められている。

本報告では、以下のような課題の分担、構成のもとに報告を行ない、この地域が直面している以上のような問題の実態解明を行なった。

中国中山間地域問題の概観 (田畑 保)  
豊平町の土地利用とその課題 (合田素行)  
農業構造の動向と高齢農家・農地管理問題  
(田畑 保)  
農業経営構造からみた農業集落の類型化

(友國宏一)  
農家類型と地域農業の担い手問題  
(宇野忠義)  
専門的農家の存在形態と産地形成  
(香月敏孝)  
中山間地域における農業生産の組織化  
(村松功巳)  
土地基盤整備と農地保全・流動化  
(両角和夫)  
農協事業の動向と課題 (千葉 修)  
中山間地域の土地問題と農地政策の課題  
(島本富夫)

なお、以上の調査結果について詳しくは『中国中山間地域の農業振興と農地問題』(特別研究「産業構造再編段階における土地問題と農地政策の展開方向に関する研究」研究資料第5号、農業総合研究所、1990年3月)参照。  
(文責・田畑 保)